



駒場アカデミック・ライティング・センター
Center for Academic Writing at Komaba



ルイス・パレート《画家の娘マリアとルイサの肖像》
1783年 国立プラド美術館

6月25日 (木)
昼休み ※飲食可
(12:10-12:50)

鳥かごのなかの自由 ース페인語の語順についてよく云われる「自由」には、じつはそれなりの制約が課せられています。たとえば主語の位置。疑問文でもないのに、なぜかよく動詞の後ろに置かれている…でも、これを前に出してしまうと、やはりいびつに響くらしい。

本ワークショップでは、スペイン語の語順について主語の後置を中心に、情報構造の観点からすこし深掘りして考えます。学部1年生を主な対象とした初級レベルの内容となりますが、中級レベル以上の方のご参加も歓迎します。

なぜ主語を 後ろに置くのか？ — ス페인語作文における情報構造 —

事前登録



対象：東京大学在学生

会場：10号館 2階 205教室

使用言語：日本語

コーディネーター：

豊田唯（駒場アカデミック・ライティング・センター 特任助教
／ ス페인美術史専攻）

